

## 目的

月齢リズムと生理活性資材を組み合わせ、植物本来のリズムを活かした病害虫に強いトマト栽培を実現する。新月期の栄養成長、満月期の生殖成長を利用し、葉面吸収と細胞形成を最大化。根圏と葉面の両輪で免疫と持続力のある株づくりを行う。

## 使用資材と主な機能

資材名	主成分・特徴	主な効果	使用部位
発根団粒元	アミノ酸・トレハロース・アミロース・高分子化合物	発根促進・根量増加・団粒形成・好気菌優勢化	灌水施用
フルボン	フルボ酸・フミン酸（腐植酸）+海洋深層水	CEC向上・ミネラル吸収促進・土壌団粒化・微生物活性化	灌水施用
根酸	クエン酸	pH調整・難溶養分可溶化・微生物相改善	灌水施用
再活DF	遷移金属還元化合物+有機酸	ガス害分解・酸素供給・根圏再生・好気菌活性化	灌水施用
シャングー	アミノ酸・コラーゲンペプチド・ニコチン酸	葉厚・硬さ・免疫強化・耐病性向上	葉面
K元気サポート	カリ・リン酸液肥（有機酸結合）	細胞壁強化・徒長抑制・生理バランス調整	葉面・灌水施用
パワーゲン	糖類+有機酸	光合成促進・体力強化・品質向上	葉面
ファイトカイニン	サイトカイニン活性型天然抽出液	細胞分裂促進・新葉展開・腋芽伸長・老化抑制	葉面

## ステージ別施用体系（全葉面散布倍率：1000倍）

- ①定植時：フルボン+再活DF（定植時灌水）→根張り促進・初期吸収安定化 ※定植は下弦の月から新月の間にとすると活着が良い。
- ②活着期：発根団粒元+再活DF+根酸（灌水灌水）→根量増加・微生物活性・土壌環境改善
- ③生育初期：シャングー+K元気+ファイトカイニン（新月期中心葉面散布）→栄養成長促進・葉厚形成・耐病性付与
- ④開花～着果期：シャングー+パワーゲン+K元気+ファイトカイニン（葉面散布）→光合成促進・糖度向上・灰色かび抑制
- ⑤収穫後半：再活DF+K元気+パワーゲン（灌水+葉面散布）→根圏再生・生理回復・果実品質維持・次作準備

※再活DFは全生育期間を通じて月1回灌水施用することで、根圏の酸化還元バランスを安定化し、成り疲れ防止、病害抑制・根再生を促進。

## 新月満月リズム活用ポイント

新月期（新月の前日～翌々日）にシャングー+ファイトカイニンを重点散布する。この時期は栄養成長が活発化し、葉・茎の細胞形成・葉緑素合成・免疫活性が高まる。葉の厚み・立性・硬さが増し、灰色かび病・うどんこ病の発生抑制につながる。

満月期（満月前後）にはパワーゲン+K元気サポートを重点散布する。この時期は生殖成長が活性化し、果実への養分転流が高まり、果実肥大・糖度向上・裂果軽減・品質向上に効果が高い。窒素の消化も良くなるので、窒素系の追肥のタイミングでもあります。

## 期待される効果

1. 根と葉の同時活性化で、活着促進と根圏持続力の向上。
2. ファイトカイニン活性化による生長点更新・果房形成促進。
3. 新月散布+多機能葉面群による最大吸収と高い耐病性。
4. 再活DF+K元気+パワーゲンによる根圏再生・生理回復・高品質維持。
5. 長期収穫安定化と高糖度・高硬度果実の両立。

## 生体分析（生育診断）における硝酸過剰時の対応

生体分析で硝酸態窒素が過剰と判定された場合、シャングー（1000倍）の葉面散布を行う。アミノ酸・有機酸・ビタミン群が過剰硝酸をアミノ化し、窒素過多を健全生育に転化させる。軟弱徒長やうどんこ病・灰色かび病を抑え、葉肉厚化・色調安定・病害抵抗性強化を同時に実現する。

## 留意点

- ・散布は朝夕（気温25℃以下）に実施。・アルカリ剤（石灰硫黄合剤・銅剤・ボルドー液）との混用は避ける。
- ・定期的な灌水・葉面処理により、生理改善と病害抵抗性を持続的に強化できる。

## 月齢カレンダー（栽培期間／日本標準時）対象期間：2026年4月～2026年12月 ※時刻は日本標準時（JST）。

月	満月（日時）	新月（日時）
2026年4月	4月2日 11:12	4月17日 20:52
2026年5月	5月2日 02:23 / 5月31	5月17日 05:01
2026年6月	6月29日 17:53	6月15日 13:52
2026年7月	7月29日 08:37	7月14日 21:59
2026年8月	8月28日 00:25	8月13日 06:29
2026年9月	9月26日 17:50	9月11日 15:28
2026年10月	10月26日 10:47	10月11日 01:49
2026年11月	11月25日 02:45	11月9日 13:02
2026年12月	12月24日 17:29	12月9日 01:27

## 【運用メモ】

新月前日～新月翌々日を「新月重点散布」とし、シャングー+ファイトカイニンの葉面散布を基本1000倍で実施。

新月前後は根に養水分が集まるので、再活DFの施用効果が高くなる。

満月前後は品質・糖度向上狙いでパワーゲン+K元気サポートの葉面散布（1000倍）を実施。